



発行
国立市公民館
〒186-0004
国立市中1-15-1
☎ 042-572-5141
FAX 042-573-0480
休館日：毎週月曜日

学び、ほぐし、広がる場

— 公民館をご利用ください —

公民館には、市民グループ活動の場として無料で利用できる8つの会場があります。また、市民交流ロビーでは、展示をすることもできます。

会場

公民館の会場を利用できるのは、主に市内在住、在勤、在学の方で構成される、自主的な活動を行うグループです。個人が主催するもの（指導者が行う教室）や、宗教活動、政治活動、営利に関わる活動では利用することができません。

限られた会場をより有効に活用できるよう、市民の方々に協力していただいて、会場調整会を毎月開催しています。会場調整会の詳細は、2ページをご覧ください。

■ 利用申込みの受付時間

午前9時～午後5時（祝日、年末年始を除く）。月曜日は休館のため、電話受付のみ。

その他の設備

公民館では、どなたでも安心して利用いただけるよう、次のような設備も備えています。
段差解消機、オストメイト対応トイレ（2階）、授乳室（2階、おむつ交換もできます）。

備品

公民館内で使うCDラジカセなどの機材の利用ができます。先着順での受け付けとなります。
そのほかに、プロジェクター、ブルーレイ・DVDプレイヤー、液晶モニター、キーボード（電子ピアノ）等を貸出ししています。



3階講座室
(定員・35人)

3階実習室

地下ホール(定員・85人)



3階和室(15帖)

印刷機や紙折り機が、市内のグループ活動の資料作りなどに利用できます。印刷用紙は持ち込みです。インク代等の実費がかかります。

キーボード
(ホールと音楽室で利用可能)



各階に給湯室があります



液晶モニター

公民館保育室

保護者が公民館内で保育付の公民館主催講座やグループ活動に継続的に参加する場合に限り、その子どもをあらかじめ、保育を行います。国立市在住の学齢前の子どもが対象です。詳細は公民館までお問い合わせください。

公民館の会場予約のご案内

—会場調整会—

要件を満たす市民グループ*が公民館の会場を借りて活動する場合、
「会場調整会」への参加によって会場を予約することができます。

1 「公民館会場等使用調整会参加申込書」の提出

公民館1階入口正面にある会場別ポストに
参加申込書を投入します。
ポスト投入期限は、毎月、調整会直前の木曜日です。



2 会場調整会への参加

会場調整会は、毎月第一土曜日(祝日の場合は原則翌日)午前10時から、地下ホールにて開催しています。
使用の希望が重なっているときはお互いに話し合い、調整を行います。重なっているグループが調整会に参加しなかった場合は、使用希望は取り消しとなります。



入口正面にあるポスト 参加申込書はこちらへ

3 本申込による予約の確定

調整の結果は仮予約です。調整会の会場で本申込ができます。
本申込は会場調整会から10日以内にしてください。10日を過ぎると仮予約は無効になります。

4 会場調整会後の予約方法

会場調整会に参加しない場合も、調整会当日の午後2時から、空いている会場の予約を2階事務室で受け付けます。
また、電話での仮予約は午後3時から受け付けています。

* 詳細や不明な点は、公民館まで
お気軽にお問い合わせください。

■今後の日程

| 使用希望月 | ロビー使用希望月 | 申込書のポスト投入期間 | 会場調整会 |
|--------|----------|--------------------|----------------|
| 26年7月 | 26年8月 | 4月26日(土)～6月5日(木) | 6月7日(土)午前10時 |
| 26年8月 | 26年9月 | 6月7日(土)～7月3日(木) | 7月5日(土)午前10時 |
| 26年9月 | 26年10月 | 7月5日(土)～7月31日(木) | 8月2日(土)午前10時 |
| 26年10月 | 26年11月 | 8月2日(土)～9月4日(木) | 9月6日(土)午前10時 |
| 26年11月 | 26年12月 | 9月6日(土)～10月2日(木) | 10月4日(土)午前10時 |
| 26年12月 | 27年1月 | 10月4日(土)～10月30日(木) | 11月1日(土)午前10時 |
| 27年1月 | 27年2月 | 11月1日(土)～12月4日(木) | 12月6日(土)午前10時 |
| 27年2月 | 27年3月 | 12月6日(土)～12月25日(木) | 12月27日(土)午前10時 |
| 27年3月 | 27年4月 | 12月27日(土)～2月5日(木) | 2月7日(土)午前10時 |

国立市公民館「平成26年度・重点目標」

幅広い市民の学びと地域活動を支える公民館は、これからもまちとひとを元気にするような事業をたくさん実施していきたいと思えます。そこで公民館がいまどんなことに重点をおいて事業を行おうとしているか、市民のみなさんにさらに理解を深めていただくために、以下の5つの重点目標を設定しました。今年度も公民館の取り組みにご期待ください！

若者への社会参加支援の取り組みを 関係機関とともに拡大します

若者の社会的自立が困難になった社会の問題を市民とともに学ぶ機会をつくり、関係機関と連携して地域社会全体でより広範な若者を支える取り組みを広げます。

公民館図書室における 地域資料の整備を進めます

昨年度は、中央図書館・郷土文化館とともに、国立市の地域資料の充実に向けて現状と課題、今後の収集方針を検討しました。引き続き、公民館は市民活動資料を中心に、より利用しやすい書架づくりやデータ整備を進めます。

公民館1階市民交流ロビーを 情報・文化交流の場として活用します

市民のつながりや文化交流を一層育むために、公民館1階の市民交流ロビーをこれまでの展示や休憩スペースとしての利用だけでなく、コンサートやワークショップなどを開催するコミュニケーション・スペースとして活用していきます。

2015年公民館開館60周年記念に 向けた取り組みを準備します

公民館は2015年に、開館60周年を迎えます。60年の節目に公民館設立の原点を見つめ直し、これからを考える記念事業を準備していきます。

施設環境の改善・整備をさらに進めます

市民とともに進めてきた補修・塗装によって、古くなった施設もキレイになってきました。今年度は経年劣化した施設・備品の改善に加え、貸出パソコンやインターネット環境など、IT利用の環境整備に取り組んでいきます。

〈公民館地域史講座〉

石井筆子と滝乃川学園の足跡をたどる



石井筆子

国立にある社会福祉法人・滝乃川学園の基礎を築き、知的しょうがい者教育・福祉の母といわれている石井筆子。まだしょうがい者への差別と人権侵害が甚しかった明治から昭和初期にかけて、夫で滝乃川学園創設者の石井亮一とともに、日本における知的しょうがい者の教育、福祉、人権の向上に尽力しました。

1891(明治24)年に創立された滝乃川学園が、北豊郡滝野川村(北区)、西巣鴨村庚申塚(豊島区)を経て、北多摩郡合保村(国立市)に移転してきたのは1928(昭和3)年。以後、谷保の地で学園は運営されてきました。

この春、国立に縁の深い石井筆子の人生と、滝乃川学園のあゆみに触れてみませんか。

〈図書室のつどい〉、〈CINEVOX 公民館映画会〉は申込み不要です。〈滝乃川学園見学会〉は申込みのうえ、ご参加ください。

〈図書室のつどい〉

石井筆子の二つの人生

～女子教育の開拓者として、しょうがい児の母として～

お話 井出 孫六 (作家)

肥前国大村藩士渡辺清の長女として生まれ、明治初期に近代的な女子教育を受けた筆子は、華族女学校での女子教育や、大日本婦人教育会の創設に尽力した前半生を送っています。一方後半生は、夫の石井亮一とともに知的しょうがい児の教育・福祉事業に身を捧げました。

女子教育への献身と、一生変わることのなかった弱者へのまなざし。井出さんは筆子の稀有な生きざまを一冊の本にまとめ、その陰影に富んだ生涯を浮き彫りにしています。井出さんにお話をうかがい、現代につながる教育・福祉の基盤を築いた筆子の人生を、皆さんと一緒にたどってみたいと思います。

〈井出さんの本〉『いばら路を知りてささげし—石井筆子の二つの人生』(岩波書店)

とき 5月17日(土) 昼2時～4時

ところ 公民館3階講座室

定員 30名(当日先着順)

*ご自由においでください。

〈CINEVOX 公民館映画会〉

『筆子・その愛』

—天使のピアノ—

日本 2006年 カラー 119分

監督 山田火砂子 ナレーション 市原悦子

出演 常盤貴子、市川笑也、渡辺梓、加藤剛、平泉成、石濱朗、小倉一郎ほか

まだ社会福祉という概念が根付いていなかった明治時代——知的しょうがい児のための施設《滝乃川学園》を創設した石井亮一の妻として、夫と共に滝乃川学園を支え、日本の知的しょうがい児教育の母と呼ばれた石井筆子の波乱の生涯を描いた力作。常盤貴子、市川笑也ら実力派俳優に交じって、全国より公募で集まった知的しょうがいを持つ子ども達が伸び伸びと瑞々しい存在感を見せている。

とき 5月25日(日) 昼2時～

ところ 公民館 地下ホール

定員 85名(当日先着順)

*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

滝乃川学園見学会



日本最初の知的しょうがい児のための社会福祉施設である滝乃川学園は、現在、しょうがい者支援施設、認知症高齢者グループホーム、地域生活支援センター等も設置・運営しています。

敷地内には英国の伝統的な教会様式に沿った構造をもつ「聖三一礼拝堂」や、学園の歴史と石井亮一・筆子夫妻に関する資料を所蔵公開している「石井亮一・筆子記念館」があります。筆子が愛用した日本最古の輸入ピアノ「天使のピアノ」も見ることが出来ます。

新緑の季節、緑の多く残る滝乃川学園を見学してみませんか。

案内 中村 修
(石井亮一・筆子記念館学芸員)

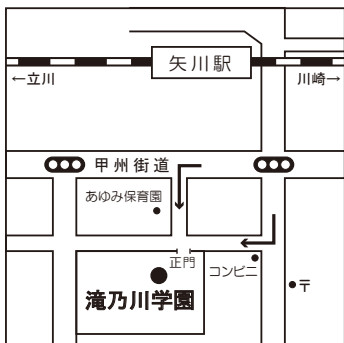
とき 5月31日(土) 昼2時～4時

集合 滝乃川学園止門※地図参照

定員 30名(申込み先着順)

申込先 5月12日(火) 朝9時

公民館 ☎(52) 5141



※JR矢川駅より徒歩10分
国立市谷保6312



子どもたちの自由な発想で、たくさんの積木と紙コップを使ってじっくり遊んだり、思いっきり遊んだりします。大学生のお姉さんお兄さん達も参加します。家ではチャレンジできない遊びに親子で挑戦してみましよう！

講師 山田 修平
(NPO法人東京学芸大子ども未来研究所) ほか

とき 5月18日(日) 朝10時～12時
ところ 公民館 地下ホール
持ち物 飲み物、動きやすい服装
対象・定員 子ども(3歳以上)と保護者 20組(先着順)
申込先 5月9日(金) 朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141
*動きやすく、汚れてもよい服装でおいでください。

親子で遊ぼう・考えよう

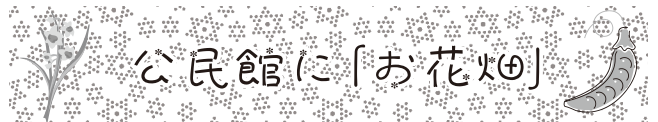
この講座は、さまざまな遊びをとおして子どもとふれあい、他の親子や異年齢の子どもたちとの交流を行う中で、大人として、保護者としてすべきことは何かを感じ取り、考えていく機会となるよう実施しています。



講師 紅野 謙介 (日本大学・日本近代文学)

とき 5月8日(木) 夜7時半～9時半
ところ 公民館 3階講座室
申込先 公民館 ☎ (572) 5141

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読みを出し合います。そのあと講師のお話を聞きます。



公民館では春の花がどんどん咲き開いています。ボランティアの方々のご協力により緑化整備に取り組んでいます。活動に興味のある方は、公民館までお問合せください。



ナノハナ



スマレとアリッサム

～公民館26年度予算について～

主催事業費や空調機設計委託事業、自立に課題を抱える若者支援事業など

■公民館費の当初予算内訳 単位：千円

| 科目 | 25年度予算 | 26年度予算 | 比較増減 |
|-------|---------|---------|--------|
| 総務費 | 83,219 | 84,313 | 1,094 |
| 人件費 | 61,419 | 59,508 | -1,911 |
| 維持管理費 | 21,800 | 24,805 | 3,005 |
| 事業費 | 26,940 | 28,486 | 1,546 |
| 主催事業費 | 16,909 | 16,914 | 5 |
| 広報費 | 6,543 | 6,174 | -369 |
| 図書室費 | 3,488 | 3,777 | 289 |
| 若者支援費 | 0 | 1,621 | 1,621 |
| 計 | 110,159 | 112,799 | 2,640 |

今年の公民館予算は、約1億1280万円で、前年度と比較して264万円の増額となりました。

主な内訳は表のとおりで、総務費は人件費と公民館施設の清掃、光熱水費など維持管理費にかかる費用。事業費は主催講座や市民文化祭、公民館だよりの印刷と配布、図書室の書籍や雑誌の購入などにかかる費用です。

新たな予算として、平成27年度に取替工事を予定している空調機器の設計委託費や自立に課題を抱える若者支援にかかる費用などを計上しています。

■国上市一般会計予算 285億1,800万円
(前年度比較 25億700万円増)

■教育費総額 33億9,462万8千円
(前年度比較 12億950万9千円増)

■公民館費 1億1,279万9千円
(前年度比較 264万円増)

冊子ができました

これらの冊子をお読みにになりたい方は
公民館へどうぞ(数に限りがあります)。

くにたちブッククラブ文集

『時空をこえる言葉』

くにたちブッククラブでは毎年講座終了後に、参加者による手作りの文集を作っています。共同で読むことで深められた読みや気づきが綴られています。



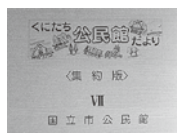
『第58回 くにたち市民文化祭記録集』

秋の文化祭に参加した団体が、催しの成果を報告しています。市内で文化・芸術活動をしている方々の、生き生きとした文化祭での写真も多く載っています。



くにたち公民館だより〈集約版〉Ⅶ

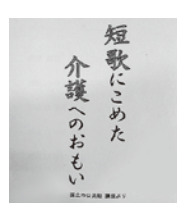
平成17年度から平成22年度の「くにたち公民館だより」を取録した集約版ができました。不断に市民とともに地域を見据えて、社会に呼びかけた講座が沢山ある冊子となっています。



介護短歌

「短歌に込めた介護へのおもい」

介護短歌では、体験を短歌に込めることで、自分の気持ちを整理し、いろんな人に思いをよせてきました。話しづらい介護の話をする機会となり、笑いあり、涙ありと、そのような雰囲気で作られた短歌を冊子にしました。



「自立に課題を抱える若者の社会参加支援事業」

中間報告書

公民館では昨年度から文部科学省の委託事業として従来の青年室事業をベースに、若者への社会参加支援を行っています。本書では有識者をはじめ、職員や若者がそれぞれの立場で現代の若者の「生きづらさ」とその支援のあり方を論じています。



読む、コーヒーハウス

公民館1階にある青年室＝「コーヒーハウス」に集う人々の手で作られた活動記録集です。沢山写真を使いながら活動の様子を分かりやすく紹介しています。



講師 浦野 歩 (一橋大学大学院生)

街にあふれる建築物。その一つ一つの連なりが、街や都市の景観をつくっています。そんな建築物が求める「光」は何をどのように見せ、そして何を隠してしまうのか。

初回は、第二次世界大戦前の欧米の映画や映像をもとに、現代に通じる近代建築が求めた「光」と、その光が生み出した都市の「影」を見つめます。(ル・コルビュジェの作品を題材にします。)

2回目は現代映画を用いて、「光」の裏側である「影」から、建物そして都市の景観を考えてみたいと思います。

とき 5月31日、6月14日(全2回)
いずれも土曜日、昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室

定員 35名(申込先着順)

申込先 5月9日(金)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

一橋大学大学院生による講座

国立市内の一橋大学では、研究者を目指す大学院生が日夜研究に励んでいます。そこで公民館が架け橋となり、若手研究者と地域社会との交流講座を企画しました。最新の研究動向に触れるもよし！ 修行中の院生にアドバイスするもよし！ 院生が講師となって専門分野をご紹介します。

くにたち野鳥観察

一城山、古民家周辺

郷土文化館から城山、古民家周辺を歩きながら、この時期に見られる野鳥を観察します。この辺りには、今の時期にどんな鳥がいるのか、先生のお話を聞きながら、一緒に観察してみましょう。

講師 相馬 尚教

(府中市郷土の森博物館 自然観察指導員)

とき 5月17日(土)朝9時～11時ごろ

ところ 郷土文化館から古民家、城山周辺

集合・解散 郷土文化館前

持ち物 筆記用具、お持ちの方は野鳥図鑑、双眼鏡等

定員 15名(先着順)

申込先 公民館 ☎ (572) 5141

*少雨実施。雨天の場合は郷土文化館で映像を見ながら、講師のお話を聴きます。

ひるば

(8ページにもあります)



道一大学通り—
撮影 末永皓さん(富士見台)

〈社会体育事業〉

「街を・山を歩く」について

〈事業の趣旨〉この事業は、市民の健康づくり、市民のコミュニティづくりの一環としています。
〈今年度の事業実施について〉4回の開催を予定しており、開催案内は公民館だよりでお知らせします。第1回目は下記の通り開催します。

「街を・山を歩く」第1回目

とき 6月5日(木)
集合 一橋大学西門前 朝8時半集合
実施方面 青梅市 軍畑方面
対象 市内在住、在勤者
申込み 日程、コース、申込み方法等、チラシの内容を確認のうえ、5月20日(火)から30日(金)までにお申込みください。
*チラシは、市役所3階生涯学習課、公民館、総合体育館、北・南市民プラザで5月12日(月)から配布しています。
申込・問合先 教育委員会生涯学習課
社会教育・体育担当 ☎(576) 2107 (直通)

グラウンドゴルフ木曜会

グラウンドゴルフはゴルフのパートナー感覚のスポーツです。初めての方も気軽にできる運動です。ぜひ一度散歩がてら一日体験してみませんか。お待ちしております。

日時 毎週月・木曜日朝9時半
場所 谷保第三公園 野球場
連絡先 遠藤(572) 1060

ターゲットバードゴルフご紹介

一本のゴルフクラブで羽根付ボールを打ち傘を逆さにしたような網ホールに入れ18ホールを回るゴルフをミニ化したニュースポーツです。体験コーナー開設中です。

日時 毎週木曜日 昼12時〜3時
場所 谷保第三公園 野球場
連絡先 岡田(575) 1358

親子で楽しくリトミック

誰もが大好きな音楽のセンスを身につけながら心身の発達を楽しく自然な形で促します。1〜5歳児を募集します。見学・体験可。リトミックサークルいちごみるく

日時 月2回水曜日午後
場所 公民館 地下ホール
連絡先 山岸090(1206) 6256

ファミリースポーツ会員募集

あらゆる運動の基本の体幹を鍛えるマット・なわとびを主に、スポーツ遊びも取り入れ、楽しく活動中。対象3歳〜小学3年生くらいまでの男女。講師は塩野啓子先生。

日時 毎週金曜日 昼3時〜5時
場所 総合体育館や南区公会堂等
連絡先 吉田090(726) 8808

「国立カントリービル」会員募集

3月に発表会を終え、来春5回目の発表会に向けスタート。楽譜が読めない会員ばかりですが、明るく楽しく混声合唱を練習しています。男女会員大募集!!見学可。

日時 第一・三金 昼1時半
場所 矢川集会所
連絡先 清水(575) 9440

くにたちふれあいコンサート

歌ソプラノ遠藤喜美子。ヴァイオリン宮下要。ピアノ宮本あんり。サクソフォン向井志門。参加者の合唱。入場無料。

主催 高齢者福祉を考える会
日時 5月30日(金) 開演昼2時
場所 芸小ホール
連絡先 福永(577) 3750

「フレンド」へようこそ!

やさしい童謡・唱歌・季節の歌をピアノに合わせて歌います。国立音大音楽科卒、経験豊富な青木啓子先生が楽しく指導して下さいます。連絡をお待ちしています。

日時 月一回 金曜日午前中
場所 公民館 地下音楽室
連絡先 新里(577) 1062

カラオケを楽しむ会

今年も日頃カラオケを楽しんでいる仲間たちが多数集まり、発表会を行います。お友達などお誘いあわせのうえ、ご来場を、出場者一同心よりお待ちしております。

日時 5月24日(土) 朝10時
場所 芸小ホール、入場無料
連絡先 高橋(572) 0806

公民館運営審議会報告

4月8日(火) 第18回定例会を開催。委員10名、館長、職員2名が出席。傍聴1名。前回の議事録確認

議題

諮問「現代の地域社会に求められる公民館の事業について」
課題別小委員会から文案説明を受け質疑応答を行った。次回までに各小委員会での今回の指摘を踏まえた修正をしようとして、文書を整理、結びに「答申実施の環境整備について」(正副委員長で文章化)の章を加え、ひとつにまとめることになった。

報告事項

- 公民館だより編集研究委員会
目新しくなったインパクトのある構成。公民館の写真、場所、役割、次月講座予定もわかりやすい。
- 社会教育委員の会
家庭教育への意見を述べ合う。
- 東京都公民館連絡協議会
引き続き26年度も佐藤ミエ委員が都公連委員部会委員に就く。
- その他報告事項
公民館より冊子を刊行しました。
①ブッククラブの「時空をこえる言葉」、②第58回くにたち市民文化祭の記録集、③自立に課題を抱える若者の地域参加支援事業の中間報告書、④青年室の「読む、コピーハーハウス」、⑤公民館だより集約版Ⅶ
次回定例会は5月13日(火)午後7時15分から。傍聴歓迎。
(長田)

ひろば

(7ページにもあります)



植物画グループへのお誘い

皆最初は初心者でした。初心者から分かり易く指導してください。楽しい植物画の会を目指して活動しております。見学自由、ご連絡お待ちしております。

日時 月3回水曜日 昼1時半
場所 芸小ホール アトリエ
連絡先 佐山(526) 7551

「墨遊会」

漢詩や百人一首で書の基本を学び、墨絵作品にも挑戦。先生による一人一人丁寧な指導で、美文字を修得。絵手紙や展覧会作品を制作する喜びを体得してゆきます。

日時 月3回火朝10時~11時半
場所 市の公共施設
連絡先 佐藤090(6315) 4061

イメージ バランス 写真展

各々の個性を生かしたアドバイスを受けた会員が、感性のおもむくままに撮った作品を展示。写真の魅力をお楽しみ下さい。「実戦写団イメージバランスくにたち」

日時 5月7日(水)~11日(日)
場所 公民館 1階ロビー
連絡先 鈴木(573) 0881

第189回くいしんぼうクラブ 台湾留学生会の皆さんと粽祭り

台湾の端午節に作る粽を、留学生会の皆さんと作りましょう。材料費800円。ゴミ袋とふきんをご持参ください。

日時 5月24日(土) 昼1時
場所 福祉会館 3階料理講習
連絡先 八宮(571) 1007

障がい児の放課後デイ映画上映

障がいをもつ子どもたちの放課後を丹念に描いたドキュメンタリー『世界一すてきな僕たち私たちに』を上映。子どもたちの心が発達について考えます。資料代大人800円

日時 6月29日(日) 昼10時
場所 福祉会館 大ホール
連絡先 岩下 FAX(577) 8676

今月の公民館 (5月)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

8日(木)夜~ くにたちブッククラブ
「古井由吉『杏子』」

17日(土)朝 くにたち野鳥観察

17日(土)昼* 図書室のつどい
「石井筆子の二つの人生」

18日(日)朝 親子で遊ぼう
考えよう
「5000個の積木で天井まで届け!」

25日(日)昼* シネボックス CINEVOX
公民館映画会『筆子・その愛』

31日(土)昼 「建築と映像
—光と影から見る建築—」

31日(土)昼 「滝乃川学園見学会」

「ひろば」掲載写真募集

「ひろば」に掲載する、国立のまちな風景や行事、自然などの写真を募集しています。毎月1、2枚掲載予定です。ご協力いただける方は、公民館までご連絡ください。

公民館 ☎ (572) 5141

「サークル訪問272」 ハムケ・共に



都心では45年ぶりの大雪、都知事選の投票日でもあった2月9日、「日本人にとつての朝鮮学校」の学習会が開かれた。講座室に満席の参加者が、佐野通夫さん(植民地教育史)の話に耳を傾けた。参加者からは「朝鮮学校がなぜあるのかを考えると、歴史のことが少しづつ見えてくる。私たち日本人の問題として考えなければならぬ」と思った。「これは人権の問題です」などの感想が出された。

2009年の発足以来、毎月一口500円の募金活動を続けている。一人ひとりと話して歴史も含めて理解してもらおう地道な活動で、4年間で約250人が一口運動を支えている。

毎月定例会のほか、年4回「ハムケ通信」を発行したり、学校の学芸会やバザーに参加して地域交流を図る。また、韓国朝鮮の歌や伝統弦楽器・ソヘグムの演奏、歌芝居「さんねん峠」の公演などのイベントも開いて、生徒たちや保護者と一緒楽しむ。

多文化の中で共に生きる私たちが、お互いの大切に行っていることを知り尊重していくという身近な問題にも通じると、会への参加を呼びかけている。

1946年にできた立川の朝鮮学校は、現在は「西東京朝鮮第一初中級学校」といい、初級学校は6~12歳、中級学校は12~15歳の児童・生徒が在籍する。小中学校に当たるが、私立学校に保障された公的助成から除かれている。

会では、「民族の言葉や文化を学ぶことが保障されるのは人権を守ること」と、地域で共に生きる朝鮮学校の子どもの学びをささやかながらも支援していこうと、



「ハムケ」とは韓国朝鮮語で「共に」の意味

連絡先 猪俣 090(794) 6594
(文・写真 富田和枝)